

2019年（令和元年度）  
 税務職員 適性試験の問題例

検査1 この検査は、aとbの値を計算式に代入し、答えのある選択肢の番号と同じ位置にマークをするものです。

例題(1)

a	b	計算式	1	2	3	4	5
3	13	$3a - 3b$	-31	-30	-29	-28	-27

例題では、aの値は3、bの値は13ですから、これらの値を計算式「 $3a - 3b$ 」に代入すると、「 $3 \times 3 - 3 \times 13$ 」となり答えは「-30」になります。これは選択肢「2」の位置にありますから、マークシートの2に記入します。

検査2 この検査は、与えられた数字や文字の組合せについて、その種類に応じて分類表A又は分類表Bのいずれか一方を用いて分類し、与えられた数字や文字が交差する欄の文字又は記号のある選択肢にマークをするものです。なお、分類表において、平仮名と片仮名は五十音順、英字は大文字も小文字もアルファベット順で範囲を表すものとします。

(分類表A)		英大文字			(分類表B)		片仮名		
		A~L	M~T	U~Z			ア~シ	ス~ヌ	ネ~ン
数字	101~235	あ	い	う	英小文字	a~i	こ	さ	し
	236~330	え	お	か		j~r	す	せ	そ
	331~456	き	く	け		s~z	た	ち	つ

例題(2)

1	2	3	4	5
さ	し	す	せ	そ

例題では、英小文字の「m」と片仮名「ナ」の組合せですので、英小文字と片仮名に対応する分類表Bを用いて分類します。この組合せは「j~r」の行と「ス~ヌ」の列が交差する欄の「せ」に該当します。「せ」は選択肢「4」の位置にありますから、マークは4に記入します。

検査3 この検査は、与えられた文字群と同じ文字群を探し、答えのある選択肢の番号と同じ位置にマークをするものです。

例題(3)

	1	2	3	4	5
とおき	とさお	とおき	ときを	てきお	とをき
フト	フヌ	フト	スキ	テヌ	メフ
すふめ	すめふ	すふめ	すなふ	まふぬ	すぬひ

例題では、与えられた文字群と同じ文字群は選択肢「2」の位置にありますから、マーク2に記入します。